【わけぎのふきみそ和え】

親しまれているふきみそ。

はっとする春の一品。

東北地方では"ばっけみそ"の愛称で

わけぎの甘さとふきのとうの苦さに

たけのこ

【春の白みそ汁】

わらび、山ウド、プチヴェール、

スナップエンドウ、アスパラガス…

都会では高級品の山菜も安価で

、るのは栃木ならでは!

## し喜連川人vol.28 稲垣 修

比べ、より積極的に問題がある部 ラックスを目的にしたマッサ ほぐし血液やリンパの流れをスム 能力をアップさせ、試合後は筋肉を 経の働きを活発にすることで運動 るパフォーマンスを最大に引き出 分を調整する。もちろんその分専 考え出されたもの。筋肉や血管、神 ツマッサージ゠だった。スポーツマ 門的知識も必要で、競技によって使 ーズにして疲労回復を早める。リ し、競技成績の向上を図るために ジとは、スポーツ競技におけ



未来を紡

text by

大河原千晶

宅としてではなく自宅から徒歩で 住人だ。そもそも、なぜ店舗兼用住 や」を営む稲垣修さんは5丁目の かけは何だったのか。 のか。そして、整体師を志したきつ も通えるような場所に店を構えた レ・ガーデンで「ここち

ガに悩まされ、頼ったのが〃スポー る日々を送っていた。しかし度々ケ 高校時代、陸上競技に明け暮れ

ら、施術者が競技の特性など熟知 う筋肉も筋肉量も異なることか いる必要がある。

傾けるほどその立場が障害とな 子どもたちに気持ちを傾ければ とともに社会人には役職が伴う もたちに関わった。しかし、年齢 突き進む。その証拠に専門教科は 変わらない。「未来ある若い世代 ところが、そのまま整体の道へ進 になりたい」と思うようになった 自分も選手を近くで支える存在 体育。自身の経験を活かし、子ど を育てたい」その気持ちに素直に 始める。しかし根底にある想いは まず、小中学校の教員として働き らった整体師の存在に「いつかは 高校時代、信頼を寄せ支えても



辛い選択だった。悩んだ末退職― 学校運営や発展にも力を注がなけ 立っている。 生理学や解剖学が今の仕事にも役 教師になるために大学時代学んだ フィオーレで叶えた。結果的に体育 そして今、もうひとつの夢をここ ればならない。それは自身にとって ちのことだけに全力投球できず、 る場面が増えた。純粋に子どもた

がこの地域を訪れて地域に活気が 自分もその手助けができたらと思 って地域を盛り上げようと先にこ 出ていけば良いと思ったし、そうや がマッサージの店を開くことで、人 をかけてもらったから。だけど自分 「場所は決めてなくて、たまたま声 こでがんばっている人の姿を見て、 なぜフィオー レで開業したのか

垣さんは言う。

ることは正直リスクを伴う。ま 稲垣さんは話す。 が少しでも地域に還元できればと なおのことだ。しかし、自分の行動 て住宅兼用ではなく賃貸であれば 商店街でもないこの場所で開業す 周りにお店がたくさん立ち並ぶ

さんが目指した『次世代への育成』

て応援し、支えていくことも稲垣 み始めた稲垣さん。地域一丸となっ

に繋がっていくのではない

良かった面もある 結果、その選択が 「今まで近所の方



けれど、ここで開 しやりたいことができていると稲 っかけになったと思う」 関わりができるき 業したことで初め いたが、現実としてスポーツマッサ て話をすることが と接点がなかった -ジの需要はほとんどない。しか きた。地域との 元々進みたかった道へたどり着

っていたお客さんが施術後に寝ら れるようになったと喜んでくれた」 ないだも仰向けで寝られないと言 ってくれると良かったなと思う。こ を抱えていたお客さんが笑顔で帰 しての需要の方が多い。でも不調 「今は場所柄、リラクゼーションと 新たな道をここフィオー レで歩

直売所は季節の移り変わり 【たけのこのワラビソース和え】 とともに旬の野菜が並び タケノコを炭火で焼いてほっくりと。 【菜の花と切り干し大根のお浸し】 ダイレクトに季節を感じ取 ワラビソースにはたたいたエシャロ ぱりぱりとした切り干し大根と出汁の ットを加えるとさらにおいしい! れる場所。春にはセリ、ウ 浸みた菜の花がよく合う。 ド、ふきのとうなどが並ぶ。 さくら市には道の駅をはじ め身近な直売所がいくつも あり、新鮮で旬の野菜が安 (手に入るのでオススメ!!